

# Senno Rikyū



## 利休と朝顔

秀吉は、利休の屋敷の露地に  
美しい朝顔が咲き乱れているという噂を耳にし、  
利休の屋敷を訪れた。

すると庭の朝顔は一株残らず引き抜かれて、  
茶室には見事な朝顔が一輪だけ入れてあった。  
これには秀吉も大いに感心したという。  
美の極意は余分な要素を省く「引き算」だ。

